

中京マチビト Café 開催報告



中京マチビトCafeとは？

中京の今後の自主的なまちづくりについて、ワークショップ形式で話し合う交流会です。まちづくりについての情報交換、交流の場として開催しています。

開催日時：平成 25 年 9 月 28 日（土）
午前 10 時～12 時（開場午前 8 時半～）
場 所：中京区役所 4 階第一会議室
参加者：96 名（運営スタッフ除く）

1 今回の目的

- まちづくりに関わる人々の情報交換・交流
- プロジェクトの芽、まちづくりに関わる人材の発見・発掘



2 プログラム

1 ぶちプレ Cafe×中京朝蜂カフェ

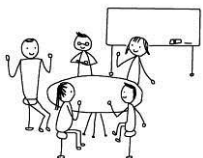
ぶちプレ Cafe×朱四エコ学区
開始前の交流タイムぶちプレ Cafeでは、中京朝蜂(あさっばち)カフェと朱四エコ学区の活動紹介を行いました。

2 オープニング

- ・谷口委員長の挨拶
- ・本日のプログラムの説明

3 自己紹介

自分が取り組む活動や、興味のあることについて自己紹介しました。



4 意見交換のテーマを募集！

次に行く意見交換のテーマを会場から募集。会場の皆さんから 17 ものテーマが提案されました。

5 テーマ別意見交換

前回に引き続き1テーブルの人数を制限し、各テーブル5～6人ずつに分かれて意見交換を行いました。関心のあるテーマに分かれて、熱心な議論が行われました。



6 中京マチビト Cafe 延長戦！

1週間後の 10/5、まだまだ話し足りない面々が集まり、それぞれ関心のあるテーマについてじっくり話し合いました。

3 話し合われたテーマ一覧（詳細裏面）

- 緑化推進
- 阿国、山三の盆踊りを作る
- グリーンカーテンを地域で広げよう
- ラッピングと贈り物で人と人を結びたい
- 二条城をいかしたまちづくり（イベント・ツアーなど）
- マチビト来たる。を一緒に作りましょう！
- 地元でボランティア・賛同者を集めるにはどうしたらよいか
- 日本とソウルの住宅企画展を日本で開催したい
- 高齢者の方々の地域参加促進
- 救急医療情報キットを作しましょう！
- 学区の予算拡大！
- 空き家の活用
- 子ども見守りについて
- 100mの絵を姉小路に
- 専門性(弁護士)を活かしていくには？
- 20代、30代「京都ジェンヌの会」を広める！
- 体に良い健康に良いお菓子を広める

参加者の声（一部抜粋）

- 良く知らずに参加したが、とても素敵なお話が聴けた
- 毎回色んなテーマでお話できてとても楽しい
- 多くの方と知り合えた
- 楽しい会で、色々なまちづくりへの熱意ある方と交流が深められて有意義だった

4 爽やかな秋空の下

第2回中京マチビト Cafe 開催

初めて土曜日の朝開催となった今回の中京マチビト Cafe。**午前 8 時半からは中京朝蜂(あさっばち)カフェを開催**し、爽やかな朝の屋上庭園で、自由な交流を楽しんでいただきました。また、朱四エコ学区が今夏のグリーンカーテンで育てたゴーヤを使ったお好み焼きをオタフクソース(株)の協力で提供。**学区で取り組むエコ活動を紹介**しました。

午前 10 時からスタートしたマチビト Cafe では、前回好評だった少人数での話し合い形式を今回も導入し、5～6人ずつに分かれた各テーブルで交流を楽しんでいただきました。**約 90 名**が集まった会場は、朝から参加者のアツい想いと熱気に包まれました。

次回は**平成 26 年 2 月 7 日に開催**します。どうぞお楽しみに！



テーマ	内容
1 緑化推進	屋上緑化を推進し、ボランティアの数を増やしたいという話題提供者に対し、京野菜の育て方教室やハーブの育て方教室等、テーマを設けた園芸講習会を開催してはどうかというアイデアが寄せられた。
2 阿国、山三の盆踊りを作る	文化、歌舞伎発祥の地である洛中には独自の盆踊りがないので作りたいという話題提供者に対し、大学の研究者や邦楽、日舞のサークルを訪ね、盆踊りの制作に関わる人を集めるといったアドバイスが寄せられた。
3 グリーンカーテンを地域で広げよう	エコであり、育てて食べる楽しみがあり、近所とのコミュニケーションもとれるグリーンカーテンの取組みを広げたいという話題提供者に対し、参加者の関心は高く、共感の声が多く寄せられた。
4 ラッピングと贈り物で人と人を結びたい	ラッピング技術を、人と人とのつながりの手段として使ってもらいたいという話題提供者。ラッピング講座を、お菓子教室や老人ホームなど様々な人とコラボして開催するというアイデアが寄せられ、コラボ先のお店や教室を募集されていた。
5 二条城をいかしたまちづくり	二条城前を市民広場にして景観を良くし、コミュニティビジネスを興したいという話題提供者に対し、二条城を会場とした歴史ツアーやスタンプラリー等イベントのアイデアが寄せられ、来年に向けての企画作りについて参加者へ呼びかけていた。
6 マチビト来たる。を一緒に作りましょう！	中京区が発行しているフリーペーパー「マチビト来たる。」を一緒に作っていく区民メンバーを募集したいという話題提供者。関心を持つ人を募るとともに、よりよい紙面作成のためにアイデアを集められていた。
7 地元でボランティア・賛同者を集めるにはどうしたらよいか	祇園祭の開催期間中、清掃・ごみ分別を行っているボランティア活動を、もっと地元地域の方と連携して一緒に行いたいという話題提供者。地域の人に知ってもらうための活動方法を考えるといったことが次のステップとして挙げられた。
8 日本とソウルの住宅企画展を日本で開催したい	「建築を広めたい」と、日本での住宅企画展開催を望む話題提供者に対し、既にソウルで行われた企画展を日本で開催するにはプラスαの魅力が必要だという意見や、日本の京都でやる意味、長期的なビジョンを持つよう促す意見が寄せられた。
9 高齢者の方々の地域参加促進	高齢者が楽しく地域参加するためにはどうすればよいのかという話題提供者に対して、ふれあう場所と機会を提供するといったことや、有償ボランティア、空き家を活用するといったアイデアが寄せられた。

話し合いの内容



テーマ	内容
10 救急医療情報キットを作りましょう！	救急隊員に自分の大切な情報を素早く伝えることができる救急キットを普及させたいという話題提供者。実際に救急キットを持参し参加者に手にしてもらうことで、疑問に思うことや普及していく方向性に関して意見を求められていた。
11 学区の予算拡大！	「地域のことは地域の力で」を合言葉に、学区の予算拡大について意見を求めた話題提供者。行政からの助成金の流れなどの説明を充実させるということや、学区という感覚が人によって違っている現状、学区活動の担い手不足などの話題について意見交換が行われた。
12 空き家の活用	空き家が非常に多い地区には安全面や防災面で課題があるため、活用して空き家を減らしたいという話題提供者に対し、空き家の所有者の理解が不可欠であるといった指摘や、交流の場として活用するなどのアイデアが寄せられた。
13 子どもの見守りについて	子どもの見守り活動をテーマとした意見交換。活動の担い手が高齢化し、若い人の参加を募る方法や、信号の未設置による危険個所の具体例などについて意見が出されていた。
14 100mの絵を姉小路に	11月16日、17日の「まちなかを歩く日」に姉小路を走る自動車を通行止めにし、100mの白布を広げて自由に絵や字を描くという取組みを行いたいという話題提供者。チラシを作成して参加者を増やすということや、テーマを決めて描くといったアイデアが寄せられた。
15 専門性(弁護士)を活かしていくには？	弁護士に対するイメージを聴き、それを活かした活動をしていきたいという話題提供者。一般の人にとって弁護士は身近な存在ではないという意見をふまえ、メールマガジンや互助会のようなシステムを作るといったアイデアが次のステップとして寄せられた。
16 20代、30代「京都ジェヌの会」を広める！	京文化、京の良さを世界に発信できるような「京おんなの会」を広め、メンバーを募集したい話題提供者に対し、「京おんなの会」が目指すこと等を分かり易くまとめ、ホームページや冊子にまとめると情報発信しやすいといったアイデアが寄せられた。
17 体に良い健康に良いお菓子を広める	卵や乳製品を使わず、安心できる材料を使ったお菓子を広める方法を探す話題提供者に対して、「家庭でも簡単に作れる」ということをテーマにし、理念に共感してくれる人への発信から広げていく、といった意見が寄せられた。